

わがチラ裏ブログより転載

<http://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

## かんちゃ記念日 20151123



1 1月23日は、かんちゃが我が家にやってきて（軟禁されて）5年目となる記念日である。

←最初の頃はすきまに隠れ込んでなかなか姿を見せなかった。

↓ やってきて1ヶ月目の写真。



## ホイコーロー 20151123

クックパッドを参考に作ってみた。

あらかじめ肉に下味（片栗粉入り）をつけておくこと、肉を炒める油に豆板醤を仕込んでおくこと、キャベツは食べる前に単独で温めてから味付けし、温めておいた肉・タマネギを投入すること、がポイントかな。

1130 先週に続き、鶏肉と牡蠣を使って味噌炒めを作る。牡蠣は薄めた酒で少し熱しておく縮まらない。



1206 3週連続で味噌炒めを作る。かなりさじ加減が分かってきた。



## 稲からごはんへ 20151129

勤務する中学校のPTA副会長様から刈り取って乾燥させた稲束を頂戴した。2年生は稲刈りを体験させてもらっており、そのとき刈った稲とは違うものなのだが、実習用にわざわざ確保していただいていたものだ。

2年生の2学期後半の家庭科として、稲束から米を取り、それを炊いて食べようと思う。

戴いた稲束は6束、一束がだいたい3株ぶんらしい。これを1株分ずつにわけ、2クラス16班の実習に使おうと思う。2株が予備&予行用である。写真が1株分の稲束。

今日は予行として1株（右写真）を使い全行程の予行練習をしてみた。

脱穀→粃すり  
昼から米搗き  
夕方から炊飯



脱穀は、稲束を藁と粃米に分ける作業だ。机の上の穂にざるをかぶせ、藁を引くと心地よい音とともに外れていく。これは4人がかりで20分ほどで終了。

授業では「ざる」が班にひとつしかないの  
で、50分かかるかな。

（右写真 ざるとボウルの間に穂をはさみ引くとキレイに取れる）



次に粃すり。粃米を粃殻と玄米に分ける作業だ。ざるに粃米を入れ、野球の軟式ボールでこすりあげると粃殻が外れる。ざるを振るようにして米を浮かして息を吹きかけて粃殻を飛ばしていく。粃殻が外れた玄米を選別して取り出すため、少量ずつする方が効率が良さそうだ。この工程にたどり着くのに時間がかかったため、

3人で2時間も費やし、ようやく粃すり終了。まあ次にするときは1時間あればできそうだが。授業では…どうかな、50分ではムリっぽい。

1株の稲束から0.8合分の玄米が取れた。



粳すりの作業風景（選別）	ざるの周りに殻が出てくる	殻の外れた玄米を選別する
		
取れた玄米 0.8合	粳殻（惜しいけど廃棄）	稲わら（こちらも廃棄）
		

昼からは搗精（とうせい）。ペットボトルを切った容器に玄米を入れ、ひたすらすりこぎ（のちに太い箸）で搗いていく作業。ほぼ3時間かけたがまったく玄米から変化していない。胚芽の部分は若干は外れているものの、米の表面が全然白くならない。白米ってのはものすごい手間がかかるものなのだなあ。なるほど色々ネットを漁ってもこの部分だけ写真がないはずだ。授業では…まあ50分かけて、白米までの道のりの遠さを実感してもらうことにしよう。

ペットボトルに入れ搗く。  
ひたすら  
ひたすら…  
ひたすら…

3時間搗いたけど…  
（暖かくなった）  
お米は黄色いまま。



3時のお茶をはさんで、炊飯へ。炊飯は炊飯器を使わずに炊くことにする。非常時、電気が使えないときでもごはんが炊けるように。

30分ほど洗って水につけていたお米（ほぼ玄米？）を、保存袋（耐熱100℃のもの）にいれ、沸騰した湯の入った鍋に入れる。火はとろ火。30分ほど炊いて、水分が米に吸収されたところで鍋から出して、少し平たく叩いて蒸らす。

少し多めの水を入れる	保存袋が溶けないように	炊けたら蒸らす。
		
玄米 と 炊きあがり	胚芽が光る	右が白米 きれいだ
		

さて試食…。色が黄色い。胚芽の部分が明るい黄色になっていて目立つ。  
味は思っていたより甘い、そしてこれが肝心なのだが滋養が詰まっている感じがする。

家族の協力（楽しくやっていたが）を得て、ほぼ一日かけて、ようやく玄米ごはんが 360g（小さいお茶碗で4杯分）。

月並みだが、普段当たり前に食べているごはんのありがたさを実感できた。

## ✿ 仮名入力中に英数字を入力できるんだ。

30年前の年末に初めてパソコンを購入してから30年。

そのときいっしょに買ったソフトが『一太郎 Ver.1』だった。つまり一太郎や ATOK とのつきあいも30年ということになる。

さて、ずっと FEP(IME)は ATOK を使ってきたわけだが、タイトルのように仮名入力中に英数字を入力するとき、いちいち英数字の前で変換を押して入力を中断していた。たとえば「おはようを英語で書くと GoodMorning です」という文章を打つときは、「…かくと」という部分まででいったん入力を中断して漢字変換・確定をし、その後に「GoodMorning」と打っていた。不便をずっと感じつつも、一方でそういう変換が身につけて慣れていた。

ところが今日ひょんなことから [CapsLock] を入力中に押すと英数字を続けて入力できることに気づいた。つまり「おはようを英語で書くと [CapsLock] GoodMorning [CapsLock] です」と入力すれば良いということだ。30年間…。

